

## 第4回知立市総合計画審議会 議事録

令和6年5月14日(火)  
午前10時～正午  
市役所 3階 第2・3会議室

### 【次第】

1. 「こうありたい知立市の未来」について
2. 将来像について
3. 基本構想(素案)について
4. その他

### 【出席者】(敬称略・順不同)

鈴木誠、坂本真理子、高橋敦子、永井淳子、三宅守人、新美文二、越智さや香、高木香津恵、松田斉、野本照人、甲斐春美、山下徹也、竹内博之、石原國彦

### 【欠席者】(敬称略・順不同)

三浦祥志

### 【事務局】

企画部長、企画政策課長補佐兼地方創生 SDGs 係長、地方創生 SDGs 係主事

### 【議事概要】

進行:会長

1. 「こうありたい知立市の未来」について

事務局より、資料について説明

山下委員	<ul style="list-style-type: none"><li>• 全体的な修正内容は問題ないと思います。</li><li>• 3)の「人財」という表現に違和感があります。「人財」はその人しかできないことを意味すると捉えており、単に人が増えることを表す際に適切か疑問を持ちました。</li><li>• ベットタウンに人が増えることは良いと思いますが、仕事が増えるのか疑問であるため、表現を再考いただきたいと思います。</li></ul>
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「人財」という表現が適切かと考えます。</li></ul>
松田委員	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「豊富な人財」は、今いる人とこれから増える人の両方を含むと捉えてよろしいでしょうか。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>• 両方含む意味と捉えています。</li></ul>
竹内委員	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「人材バンク」という言葉がありますが、どこにどのような人材がいるかの情報を発信する場所がないので、一般市民には伝わりません。情報を集約して発信ができる場所があると良いのではないのでしょうか。</li></ul>
新美委員	<ul style="list-style-type: none"><li>• 2)について、周辺の刈谷市・豊田市・安城市は昼間人口が多いのに対し、知立市は昼間人口が少ないです。知立市から名古屋に働きに行く人もいるでしょうが、周辺市町に行く人の方が多いのではないのでしょうか。そのため、「名古屋や周辺都市」という表現が適切ではないのでしょうか。</li><li>• ブランド力を向上するための仕掛けを考えていただきたいと思います。</li></ul>

山下委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「名古屋市」から「名古屋」に修正されたことで、周辺市町も含まれるようになったと思いますが、それでも少し不十分だと感じます。</li> <li>知立市は愛知県の中心に位置しており、県内のどこにでも行きやすいことがメリットであるため、そのことをうまく表現できると良いのではないのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後10年を見据えるにあたり、リニア開業に伴う名古屋周辺のポテンシャルの向上が期待されます。名古屋で働く人を戦略的に取り込みたいという意図があります。</li> </ul>
松田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「名古屋」だけだと捉えられないように、「名古屋と三河」した方が良いのではないのでしょうか。</li> </ul>
甲斐委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>6)について、単身者よりも障がいを持つ人の方の優先順位が高いのではないのでしょうか。可能であれば「障がい者」に入れ替えていただきたいです。</li> </ul>
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>8)に「多文化共生の視点は4・6番のイメージに含めており」とありますが、多文化共生のインパクトが小さいと感じました。</li> <li>6)について、「高齢者や単身者、外国人」が孤立しやすい弱者だというイメージを感じてしまい、また、外国人も外国人だから困りやすいわけではないので、「高齢者や単身者、外国人はじめ、」を削除して単に「すべての市民が孤立することなく」としてはいかがでしょうか。</li> </ul>
甲斐委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すべての市民」に自分が入っているのか、不安に感じます。自分を受け入れてくれることが伝わると良いと思います。</li> </ul>
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>「全ての市民が地域社会の一員であることを認識できている。」の主語として障がい者等を入れると良いかもしれません。</li> </ul>
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高齢者や単身者、外国人はじめ、すべての市民が孤立することなく、」という、ネガティブな言葉で文章が始まっているのが気になります。</li> <li>4)に多文化共生の視点があまり感じられません。6)の「あらゆる人たちがお互いを認め合っている。」の部分に「多文化共生が実現している」等と入れても良いのではないのでしょうか。</li> </ul>
石原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6次総合計画の中で、将来都市構造図が掲載されています。図をベースにこうありたい知立市の未来を検討されていると思いますが、住宅ゾーンが多くあり、知立市の暮らしのまちとして特徴が表れています。農業ゾーンは、縮小するかもしれませんが、なくなることはないため、こうありたい知立市の未来の中でも触れておくべきだと思います。</li> <li>防災や災害についても触れられていますが、災害時における農地の利用が考えられるのではないのでしょうか。</li> </ul>
竹内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)に関連して、子ども会の縮小やPTA活動の衰退等、地域の子どもに対する活動が希薄になってきていると感じます。南中学校でコミュニティスクールが始まりますが、横のつながりが無いと感じています。コミュニティに関して、1)の中で触れていただけないのでしょうか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自助・共助・公助の観点で、自助・公助については触れられていますが、共助に当たるコミュニティに触れていないので、追加いただきたいと思います。</li> </ul>
野本委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもをターゲットにした、より具体的な文章を追加できないでし</li> </ul>

	<p>ようか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3)で働く人に着目されていますが、産業立地をしていく中で、働く場所を確保していかないと、昼間人口の流出が防げません。近くで働ける環境が重要であることを、どこかに記載すべきだと思います。</li> </ul>
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• こうありたい知立市の未来ということで、華やかな言葉が並んでいて、福祉の観点からみると少し乖離があるように感じます。福祉では、普通の幸せ、日々の暮らしの安心感がベースにあり、年をとってもコミュニティの中で過ごしていけることが一つの魅力であるため、どこかに追加いただきたいと思います。</li> <li>• 高齢になって、家を売って市外へ出て行かれる方が多くいらっしゃいます。「福祉サービスの充実」という言葉があると、多文化共生や子ども・高齢者支援等のすべてにわたって、安心感が得られるようになります。どこに追加すれば良いかは判断が難しいです。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6)で触れられればと思いますが、表現は検討しましょう。</li> </ul>
甲斐委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光名所としての在り方をもう少しPRできると良いと思います。</li> <li>• 7)で、登録文化遺産があることや長い歴史があることを表現し、市民の誇りにもつながっていければと思います。</li> </ul>
新美委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「ユネスコ世界遺産」という言葉を入れてはどうでしょうか。</li> <li>• 3)の「豊富な人財が魅力となり、様々な業種の企業が新たに進出する。」の中に、「先進的な企業」といったニュアンスを入れてほしいと思います。</li> </ul>
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 7)について、コミュニティビジネスの観点から、スタートアップが生まれることにも触れると良いと思います。</li> </ul>
坂本副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 包摂的な社会の方向性は重要ですが、あえて言わないと取りこぼされてしまう人たちについては、意識的に記載していく必要があると感じています。</li> <li>• 商業的な繁栄だけではなく、自然との調和も非常に大切ではないでしょうか。</li> <li>• コミュニティづくりについては全体に関わる内容となります。</li> </ul>

## 2. 将来像について 事務局より、資料について説明

高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アンケートの「自分らしい時間を過ごせる場所がある」とはどういったイメージでしょうか。知立市民は7万人おり、7万通りの自分らしい時間を過ごせる場所があるということなのでしょう。これを市の方針としてどうとらえるかが難しいと感じます。どの市でアンケートをしても、「自分らしい時間を過ごせる場所がある」は同じような結果になってしまうのではないのでしょうか。</li> </ul>
甲斐委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アンケートを見ると、他の項目と比べて、「友達や職場の仲間と盛り上げられる場所がある」が重要とされていません。「つながる」ことを面倒だと感じる人もいるのではないのでしょうか。</li> <li>• 第6次総合計画の中の「安らぎ」という言葉が追加されると良いと感じます。「にぎわう」や「つながる」が好きでない方にとっては、「安らぎ」の方がマッチする方も多いかもかもしれません。</li> </ul>
新美委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題がなければ、第6次総合計画の「輝くまちみんなの知立」を引</li> </ul>

	<p>き継ぐべきではないでしょうか。</p>
石原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「輝くまちみんなの知立」はとても良い言葉で、引き継ぐべきと考えます。「～安らぎ・にぎわう住みよさを誇れるまち～」の部分、案の「にぎわう・つながる自分らしさをかなえるまち」としてはどうでしょうか。</li> <li>心の安らぎを感じられるまちのイメージが表現できると良いと思います。</li> </ul>
永井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後パブリックコメントを踏まえて計画策定をしていくと思いますが、他の計画でパブリックコメントをした際に、市民からわかりづらいという声をよく聞きました。一般市民がすぐに理解できるような見出し、文章とする必要があると感じます。</li> <li>各項目の文章を短く簡潔にまとめて、わかりやすい計画になると良いと思います。</li> </ul>
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の継承より、目指す姿を適切に表していることの方が重要だと感じます。目指すべき姿が前回の将来像の言葉で表せるのであれば、継承すれば良いと思います。</li> </ul>
高木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の将来像に必要な要素が含まれており、継承しても良いのではないのでしょうか。</li> <li>「輝く」というキーワードは、最近よく目にするようになりました。頻繁に変えることはしない方が良いのではないのでしょうか。</li> </ul>
野本委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6次の将来像を知らなかったため、6次のままでも良いと思いますが、「安らぎ」のイメージは「自分らしさをかなえる」に含まれていると感じるので、第7次の新しい案も違和感はありません。</li> </ul>
山下委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6次の「輝くまちみんなの知立」を踏襲し、サブタイトルを時代に合わせて変えることが良いのではないのでしょうか。</li> <li>原案だけでは物足りなさがあります。</li> </ul>
永井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブタイトルで時代を反映することができれば良いのではないのでしょうか。</li> </ul>
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が同じ解釈ができる言葉を選ぶ必要があります。</li> <li>「安心感」の要素があると良いと思います。</li> </ul>
三宅委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次の将来像で良いと思います。</li> </ul>
松田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「にぎわう」をはじめに持ってくることは良いと感じ、新案も悪いとは思いません。</li> <li>第6次計画の「安らぐ」という表現は捨てがたく感じます。</li> </ul>
竹内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>踏切で分断されていたまちが、再開発で「つながる」ということで、時代に合ったキーワードだと感じます。</li> </ul>
坂本副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインタイトルを継続するというのはわかりやすいと思います。サブタイトルに時代を反映するという考え方は良いのではないのでしょうか。</li> <li>「自分らしさをかなえるまち」が少しわかりづらいかもしれません。</li> <li>「つながる」という言葉は、強固なつながりというよりは、先ほど話にも出たコミュニティとしての現代的な緩いつながりを指しており、良いキーワードではないのでしょうか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>「輝くまちみんなの知立」を踏襲しながら、サブタイトルを検討いただきたいと思います。</li> </ul>

3. 基本構想(素案)について

事務局より、資料について説明

委 員 長	・意見があれば5月中に事務局に提出することとします。
-------	----------------------------

4. その他

事務局より次回以降の会議日のお知らせ

第5回 令和6年6月11日(火) 午前10時～正午 (中央公民館2階中会議室・リモート併用)

第6回 令和6年7月9日(火) 午前10時～正午 (中央公民館2階中会議室・リモート併用)

第7回 令和6年8月7日(水) 午前10時～正午 (中央公民館2階中会議室・リモート併用)

第8回 令和6年11月6日(水) 午後2時～午後4時 (市役所2階第2・3会議室・リモート併用)

※第8回審議会はパブリックコメントの意見を踏まえ、計画を修正しない場合には開催しない

事務局より委員報酬のお知らせ

以上